

原水爆禁止 2019 年世界大会に参加の皆様へ

原水爆禁止 2019 年世界大会の開催、誠におめでとうございます。

戦争体験者の高齢化などにより、先の大戦を体験した世代が年々減少し、戦争の悲惨さや平和の大切さを若い世代に伝えていく機会が減る中、世界平和を願い、毎年たゆまぬ平和要請行動を継続している皆さまに、心から敬意を表します。

羽村市では、平成 7 年に戦後 50 年を契機として「羽村市平和都市宣言」を行い、平成 24 年には「平和首長会議」に、平成 27 年には、「日本非核宣言自治体協議会」に加入いたしました。

戦後から 70 年以上が経過し、戦争体験者が年々少なくなってきた中で、過去の悲惨な戦争体験を風化させることなく、若い世代が平和について考える機会となるよう平和啓発事業を実施し、平和の大切さを自ら発信していく契機としていきたいと考えております。

世界各地では未だテロや紛争が絶えませんが、私は、羽村市平和都市宣言の趣旨を尊重しながら、5 万 6 千人の羽村市民とともに、戦争の防止と、被爆国としての悲惨な体験から、核兵器のない世界の恒久平和の実現のため、不断の努力を続けてまいります。

原水爆禁止 2019 年世界大会の成功を祈念申し上げ、私のメッセージといたします。

令和元年 8 月吉日

東京都羽村市長
並 木

